

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	相模湖公園	相模湖漕艇場
所在地	相模原市緑区与瀬	相模原市緑区与瀬340番地
サイトURL	https://www.sagamiko.info/	https://kra.or.jp/
根拠条例	神奈川県都市公園条例	神奈川県立相模湖漕艇場条例
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和33年11月)	ボートの競技等を通じて県民のスポーツの振興を図るため(S38年)
指定管理者名	相模湖観光協会・神奈川県ローイング協会グループ	
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	
施設所管課	都市公園課 (厚木土木事務所津久井治水センター)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
(一体としてのコメント) 相模湖公園と相模湖漕艇場を一体的に管理運営を行うことで、漕艇場職員の協力を得て、公園のイベントを円滑に実施したほか、駐車場など公園施設を使用することで、相模湖でボート・カヌー競技の大会を柔軟に運営したなど、一定の効果がみられる。 今後も、相模湖公園と相模湖漕艇場の更なる連携を期待する。
■相模湖公園について 利用状況の評価はB、利用者の満足度の評価はA、収支状況の評価はAで、3項目評価はAとした。 利用状況について、例年通りの大規模イベントを開催することができたことから、利用者数は、前年を上回ることができたものの目標値には達することができずB評価となった。 なお、苦情や事故が1件も発生しておらず、適切に管理運営が行われていたことは評価できる。 引き続き、利用者の満足度の維持、及び利用者の安全に配慮した管理運営に努めるほか、イベントの開催などを通じて、地域活性化に寄与する取組みを行ってほしい。
■相模湖漕艇場について 利用状況についてはC評価となったものの、提案に基づく指定管理業務を着実に実施した。老朽化した備品等の修繕に努め、イベントへの協力を通して地域振興を図り、幅広い層の利用者のニーズに寄り添った対応を行うなど、利用者に対するサービスの向上策に努めた。その結果、利用者の満足度の評価結果がS評価、収支状況の評価結果がS評価となったことから、令和6年度の3項目評価についてはB評価とした。 今後も、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、引き続き、相模湖公園との円滑な連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。

<各項目の詳細説明>					
■相模湖公園について					
◆管理運営等の状況 提案に基づいて様々なイベントを例年通りの規模で開催するとともに、新規のイベントを追加するなど、利用促進に努めた。維持管理業務においては、園内清掃を入念に行い、利用者の安全性の確保、及び美観上の観点から、積極的に修繕工事を実施するなど、良好な実績を上げた。					
◆利用状況 さがみ湖湖上祭花火大会などの大規模イベントを例年通りに開催するとともに、「どうぶつ村がやって来る」などの新規のイベントを追加したことから、利用者数は前年度との比較で102.2%と増加したものの、目標値に対しては95.7%となり、B評価となった。					
◆利用者の満足度 指定管理者により年間2回の調査を実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が85.9%であったことから、A評価となった。					
◆収支状況 駐車台数が前年度と比較して増加したものの、駐車場収入は当初計画額より761千円減となった。また、支出は原油価格高騰に伴い電気代等が高騰したものの、概ね計画どおりであり、収支差額は863千円、収支比率は101.6%と良好な実績をあげて、A評価となった。					
◆苦情・要望等 適切な維持管理に努めた結果、苦情要望等はなかった。					
◆事故・不祥事等 作業上の安全に配慮した結果、指定管理業務に関連した事故は1件も発生しなかった。					
◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査や労働基準監督署からの指摘事項はなく、良好な労働環境の確保に取り組んでおり、極めて良好な実績を上げた。					
◆その他 令和6年度の3項目評価については、A評価とした。今後も引き続き、利用者の満足度の維持に努めるほか、相模湖漕艇場と連携したイベントを拡充するなど、地域活性化に資する取組を更に充実させるよう努めてもらいたい。					
■相模湖漕艇場について					
◆管理運営等の状況 提案に基づき指定管理業務を着実に実施した。施設運営については、各関係団体と調整したことで、利用しやすい施設となった。維持管理業務については、施設の老朽化が著しい中でも、県有艇の整備や小規模修繕等を行い、快適なサービスを提供することができた。					
◆利用状況 更なる利用促進に向けてボートレース体験会を実施した。利用者数については目標値を20,000人として、幅広いニーズをもつ利用者層へのサービスの向上を行ったが、14,305人となり、達成率が71.5%に留まったためC評価となった。					
◆利用者の満足度 7・10月に実施し、上位2段階の回答割合が98.5%となったためS評価となった。前年度に引き続き、指定管理者の努力により高い満足度を維持することができた。					
◆収支状況 ボート利用者数の増加に伴う収入の増加により、収支比率が114.21%となり、S評価となった。					
◆苦情・要望等 施設や設備の老朽化による故障等に関する要望が多数寄せられたが、職員による点検回数を増やしたり、簡易的な修繕を施すなど、適切な対応に努めている。					
◆事故・不祥事等 職員による施設の日常点検を実施するなど適切な施設運営に努めている。					
◆労働環境の確保に係る取組状況 労働基準監督署からの指摘事項はない。					
◆その他 令和6年度の3項目評価については利用状況がC評価となったため、B評価とした。引き続き、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、相模湖公園とより円滑な連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実・強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。					

3. 3項目評価の結果

A	3項目評価 (施設別)		利用状況 (項目6参照)	利用者の 満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。 S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
	<参考> 相模湖公園	A	B	A	A	
	<参考> 相模湖漕艇場	B	C	S	S	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	施設管理等における課題の共有、対策に向けた県との役割分担の確認など、随時意見交換等を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
4月に「相模湖やまなみ祭」のイベントを実施。相模湖やまなみ祭実行委員会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は6,000人	4月29日(月)にイベントを実施。音楽祭や相模湖畔クリーン活動等を実施した。参加者数は約4,500人であった。	参加者数が昨年度より増加した。今後とも地域に根ざしたイベント企画を実施し、利用促進を図ってほしい。
6月下旬から7月上旬に七夕の飾り付けイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は600人	6月22日(土)～7月7日(日)で七夕の飾り付けを実施。近隣の養護学校及び保育園3園の児童や来園者が、園内に設置した竹に、願い事を書いた短冊の飾り付けをした。参加者数は約550人であった。	保育園の年間行事として定着している。多くの児童、来園者に飾り付けをしていただいた。
8月に「さがみ湖湖上祭花火大会」のイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は40,000人	8月1日(木)にさがみ湖湖上祭花火大会のイベントを実施。商工会や地元警察等とも連携し、滞りなく花火大会を実施できた。イベント参加者は、相模湖公園を中心とし約50,000人であった。	70回を数える歴史のあるイベントであり、天候にも恵まれたため、多数の方が来園し、提案どおりの効果があった。
10月にふれあい広場のイベントを実施。相模湖商工会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は600人	10月6日(日)にふれあい広場のイベントを実施。湖での足漕ぎスワン大会、キッチンカーの出店などで賑わった。参加者数は約600人であった。	参加者数は概ね計画どおりであった。地元や漕艇場と協力した今後活かせる取り組みであった。
12月に相模湖公園イルミネーションのイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は3,000人	12月1日(日)～12月30日(月)で相模湖公園イルミネーションのイベントを実施。相模湖駅周辺のほか、近隣の民間施設や周辺道路と共同でイルミネーションを設置した。参加者は約1,100人。	昨年度よりも飾付けを追加したものの、近隣の民間施設の人気が高く、客足が流れたためか、計画参加人数には及ばなかった。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満
B	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	91,387	152,565	155,917
対前年度比		166.9%	102.2%
目 標 値	163,000	163,000	163,000
目標達成率	56.1%	93.6%	95.7%

目標値の設定根拠：	提案書記載の目標数値
利用者数の算出方法（対象）：	駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備 考＞ さがみ湖湖上祭花火大会などの大規模イベントを例年通りに開催するとともに、「どうぶつ村がやって来る」などの新規のイベントを追加したことから、利用者数は前年度との比較で102.2%と増加したものの、目標値に対しては95.7%となり、B評価となった。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、年2回の詳細アンケートを使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から概ね満足との評価を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 206 / 240 = 85.8%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	102	75	27	2	0	206	緑や草花がとてもきれい。
回答率	49.5%	36.4%	13.1%	1.0%	0.0%		
前年度の回答数	86	79	32	5	0	202	
前年度回答率	42.6%	39.1%	15.8%	2.5%			
回答率の対前年度比	116.3%	93.1%	82.7%	39.2%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

指定管理者により年間2回の調査を実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が85.9%であったことから、A評価となった。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	42,000	0	11,500	駐車場 11,500	53,500	53,500	0	
	決算	42,000	0	11,816	駐車場 11,816	53,816	53,224	592	101.11%
前年度	当初予算	42,083	0	11,600	駐車場 11,600	53,683	53,683	0	
	決算	42,083	0	10,801	駐車場 10,801	52,884	52,263	621	101.19%
令和6年度	当初予算	42,049	0	11,700	駐車場 11,700	53,749	53,749	0	
	決算	42,049	0	10,939	駐車場 10,939	52,988	52,125	863	101.66%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和6年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備 考>
駐車台数が前年度と比較して増加したものの、駐車場収入は当初計画額より761千円減となった。また、支出は原油価格高騰に伴い電気代等が高騰したものの、概ね計画どおりであり、収支差額は863千円、収支比率は101.6%と良好な実績をあげて、A評価となった。

9. 苦情・要望等 ☒ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

【相模湖漕艇場】

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	県発注工事の監督業務等にあわせて追加で現場確認を実施し、問題意識を共有している。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	毎月の現地確認のほか、電話やメール等により、担当者レベルでの打合せを実施し、施設の管理運営に係る情報共有を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
指定管理業務に当たっての考え方・運営方針等	漕艇場利用者と湖面利用者、公園利用者が円滑な利用ができるよう、各団体と調整等を図りながら運営を行い、安心して利用していただける施設になるよう努めた。	引き続き、関係各団体と必要な連携を取りながら、利用しやすい施設となるようにしていただきたい。
施設の維持管理	専門的な業務を除き、職員が修繕できる箇所（施設・競技用ボート等）は随時で行い、経費節減と利用環境の改善を図った。また、機械室給水配管用バルブ交換工事等の小規模修繕を実施した。	各箇所、積極的な修繕を実施していただき、特にボート競技関係の物品については専門的な視点を持って対応いただいている。引き続き、利用環境の改善に努めていただきたい。
利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	新たに地元青年会議所と協力した、ボートレース体験会を行い、利用拡大を図った。さらに、パラローイング委員会による強化合宿や「障がい者向け乗艇体験会」に協力した。	障がい者を含む、施設の利用促進のため、様々な企画を実施し、今年度は新たな試みも行っており、競技人口増加を図った。引き続き、利用促進に取り組んでいただきたい。
事故防止等安全管理	作成した各種マニュアルに基づいて、利用者の安全対策を図った。また、乗艇者には必ずトランシーバー等を携帯させた。さらに、防犯カメラを設置し、監視による犯罪防止に努めた。	様々な安全管理対策を取ることで、利用者が安心して施設を利用できるように管理していた。
地域と連携した魅力ある施設づくり	公共施設として、学校、スポーツ協会や公園の事業に貢献した。また、相模湖商工会による「足こぎスワン世界大会」のコースや浮き桟橋の設置等に協力した。	地域のイベント等にも協力することで、魅力ある施設となるようにしていただいている。引き続き、連携に努めていただきたい。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
県民を対象とするボート教室の開催（県民相互の交流促進及び健康保持を図り、ボート競技の普及に資することを目的とする。）	相模原市内の中学生を対象としたボート体験教室を４回開催し、80名が参加した。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満
C	

	前々年度	前年度	令和６年度
利用者数※	12,948	14,168	14,305
対前年度比		109.4%	101.0%
目 標 値	20,000	20,000	20,000
目標達成率	64.7%	70.8%	71.5%

目標値の設定根拠： 過去の利用者数の推移を考慮して設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書及び艇庫利用者

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備 考>

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年2回（7・10月）	概ね「満足」又は「やや満足」という結果であったが、施設・設備の状態については、「やや不満」とする声もあった。

[サービス内容の総合評価]

質問内容 施設管理に対するサービスの満足度について、該当する印象に○を付けてください。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 201 / 205 = 98.0%

配布(サンプル)対象 令和6年7月、10月の施設利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 評価の回答数	139	59	3	0	201	施設の開館時間の設定 等が評価されたため。
回答率	69.2%	29.4%	1.5%	0.0%		
前年度の 回答数	131	64	5	0	200	
前年度回答率	65.5%	32.0%	2.5%	0.0%		
回答率の 対前年度比	106%	92%	60%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備 考>

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S（優良）：105%以上　A（良好）：100%～105%未満 B（概ね計画どおりの収支状況である）：85%～100%未満　C（収支比率に15%を超えるマイナスが生じている）：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	18,639	2,604	0		21,243	21,243	0	
	決算	18,639	3,911	50	自販機 電気代 50	22,600	20,972	1,628	107.76%
前年度	当初予算	18,693	2,746	0		21,439	21,439	0	
	決算	18,693	4,947	621	自販機 電気代 34 原油高騰 補填 587	24,261	21,276	2,985	114.03%
令和6年度	当初予算	19,180	2,890	0		22,070	22,070	0	
	決算	19,180	5,646	394	自販機 電気代 39 原油高騰 補填 355	25,220	22,083	3,137	114.21%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
令和6年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<備 考>

9. 苦情・要望等 ☒ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。